2.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1) 重要な動物種及び生息地の状況

(1) 重要な動物種の選定根拠等

埼玉県内における動物種について、表 3.2.5-1 に示す文献資料に基づき作成した。また、文献資料で確認された種を対象に表 3.2.5-2 に示す基準に該当する種を重要種として整理した。

表 3.2.5-1 文献資料一覧

記号	文献名
a	埼玉県レッドデータブック動物編 2018（第 4 版）（埼玉県、2018 年）
b	第 2 回～第 6 回自然環境保全基礎調査（環境省、1978 年～2005 年）
c	上尾市植物動物調査報告書（上尾市、平成 3 年 3 月）
d	伊奈町史資料調査報告書　第十四集　伊奈の野鳥（伊奈町史編集室）

表 3.2.5-2(1/2) 重要種選定基準

No.	法令	選定根拠
①	「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号）	・特別天然記念物（特天） ・国指定天然記念物（国天）
②	「埼玉県文化財保護条例」 （昭和 30 年埼玉県条例 46 号）	・県指定天然記念物（県天）
③	「上尾市文化財保護条例」 （平成 18 年 3 月 29 日） 「伊奈町文化財保護条例」 （昭和 38 年 10 月 1 日　条例第 21 号）	・市町指定天然記念物（市天）
④	「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律（種の保存法）」 （平成 4 年 6 月 5 日　法律第 75 号）	・国内希少野生動植物種（国内） ・国際希少野生動植物種（国際） ・特定第一種国内希少野生動植物種（第一） ・特定第二種国内希少野生動植物種（第二） ・緊急指定種（緊急）
⑤	「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」 （平成 12 年 3 月 24 日　条例第十一号）	・希少野生動植物（指定）

表 3.2.5-2(2/2)　重要種選定基準（文献による指定種）

No.	文献等	選定根拠
⑥	環境省レッドリスト 2020	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） ・絶滅危惧ⅠＡ類(CR) ・絶滅危惧ⅠＢ類(EN) ・絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足(DD) ・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
⑦	埼玉県レッドデータブック動物編 2018 の地帯区分「全県」の指定種	・絶滅(EX) ・野生絶滅(EW) ・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) ・絶滅危惧 IA 類(CR) ・絶滅危惧 IB 類(EN) ・絶滅危惧Ⅱ類(VU) ・準絶滅危惧(NT) ・環境条件の変化によって容易に絶滅危惧に移行しうる属性を本来有しているもの(NT1) ・生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの(NT2) ・情報不足(DD) ・絶滅のおそれのある地域個体群(LP) ・地帯別危惧(RT)
⑧	埼玉県レッドデータブック動物編 2018 の地帯区分「大宮台地」の指定種	

注：⑧において上尾市及び伊奈町は「大宮台地」に位置していることから、「大宮台地」に属している動物の重要選定基準を記載している。

出典：「環境省レッドリスト 2020」（令和 6 年 2 月閲覧、環境省）
「埼玉県レッドデータブック動物編 2018（第 4 版）」（令和 6 年 2 月閲覧、埼玉県ホームページ）

(2) 哺乳類

埼玉県内における重要な動物種（哺乳類）の生息は、表 3.2.5-3 に示すとおり、24 種の生息が確認されている。

表 3.2.5-3　重要な動物種の状況（哺乳類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1	アズミトガリネズミ						NT	DD		a
2	カワネズミ							NT1		a
3	ミズラモグラ						NT	NT1		a
4	コキクガシラコウモリ							NT1		a
5	キクガシラコウモリ							NT1		a
6	ヒメホオヒゲコウモリ							NT1		a
7	カグヤコウモリ							EN		a
8	モリアブラコウモリ						VU	EN		a
9	ヤマコウモリ						VU	VU		a
10	クビワコウモリ						VU	EN		a
11	チチブコウモリ							EN		a
12	ウサギコウモリ							NT1		a
13	ユビナガコウモリ							EX		a
14	コテングコウモリ							NT1		a
15	テングコウモリ							NT1		a
16	オヒキコウモリ						VU	DD		a
17	ホンドモモンガ							NT1		a
18	ムササビ							NT1		a
19	ヤマネ	国天						NT1		a
20	ハツカネズミ						CR+EN			b
21	ツキノワグマ				国際			NT2		a
22	オオカミ				国際			EX		a
23	オコジョ							NT1		a
24	カワウソ	特天			国際			EX		a
合計	24 種	2 種	0 種	0 種	3 種	0 種	7 種	23 種		―

注：種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　令和 5 年度」（令和 5 年　国土交通省）に従った。

(3) 鳥類

埼玉県内における重要な動物種（鳥類）の生息は、表 3.2.5-4 に示すとおり、121 種の生息が確認されている。

表 3.2.5-4(1/3) 重要な動物種の状況（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1	ウズラ						VU	越:CR 繁:CR	越:CR 繁:CR	a, b, c, d
2	ヤマドリ							越:VU 繁:VU		a
3	ヒシクイ	国天					亜種ヒシクイ:VU 亜種オオヒシクイ:NT	越:CR	越:EX	a
4	マガン	国天					NT	越:CR	越:EX	a, d
5	カリガネ						EN	越:EX		a
6	シジュウカラガン				国内		CR	越:EX		a
7	コハクチョウ							越:NT1	越:NT1	a
8	オオハクチョウ							越:CR	越:CR	a, c
9	オシドリ						DD	越:VU 繁:EN	越:EN	a, c
10	トモエガモ						VU	越:VU	越:VU	a, b, c
11	アカハジロ						DD			d
12	アカエリカイツブリ							越:VU	越:VU	a
13	カンムリカイツブリ							越:VU	越:VU	a
14	ミミカイツブリ							越:DD	越:DD	a
15	ハジロカイツブリ							越:NT1	越:NT1	a
16	シラコバト						EN	越:EN 繁:EN	越:EN 繁:EN	a, b, d
17	アオバト							繁:RT		a, c
18	コウノトリ				国内		CR	繁:EX	繁:EX	a
19	ヨシゴイ						NT	繁:VU	繁:VU	a, b, c, d
20	オオヨシゴイ				国内		CR	繁:EX		a
21	ミゾゴイ						VU	繁:EN		a, b
22	ササゴイ							繁:EX	繁:CR	a, b, c
23	アマサギ							繁:LP	繁:LP	a, b, c, d
24	チュウサギ						NT	繁:VU	繁:NT2	a, b, c, d
25	コサギ							繁:NT2	繁:NT2	a, b, c, d
26	トキ	特天			国内		CR	繁:EX		a
27	クイナ							越:VU	越:VU	a, b, c, d
28	ヒクイナ						NT	繁:CR	繁:CR	a, b, c, d
29	オオバン							繁:NT1	繁:NT1	a
30	バン							繁:NT2	繁:NT2	a, b, c, d
31	ジュウイチ							繁:LP		a, d
32	ホトトギス							繁:RT		a, c, d
33	ツツドリ							繁:LP		a, c, d
34	カッコウ							繁:NT2		a, b, c, d
35	ヨタカ						NT	繁:VU	繁:EX	a, c
36	ハリオアマツバメ							繁:DD		a
37	ヒメアマツバメ							繁:LP 越:VU		a
38	タゲリ							越:NT2	越:NT2	a, b, c, d
39	ケリ						DD	越:EN 繁:NT1	越:EN 繁:NT1	a, b, c, d
40	イカルチドリ							繁:NT1		a, b, c, d
41	シロチドリ						VU	繁:LP		a, b, c
42	ヤマシギ							越:VU	越:VU	a, b, d
43	オオジシギ						NT	繁:CR		a, c, d

表 3.2.5-4(2/3)　重要な動物種の状況（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
44	タシギ							越:RT	越:NT2	a, b, c, d
45	ツルシギ						VU			c
46	タカブシギ						VU			b, c, d
47	イソシギ							繁:VU	繁:VU	a, b, c, d
48	ハマシギ						NT			c
49	タマシギ						VU	越:CR 繁:CR	越:CR 繁:CR	a, b, c, d
50	ツバメチドリ						VU	繁:CR		a
51	コアジサシ						VU	繁:CR	繁:CR	a, b, d
52	アジサシ							繁:DD		a
53	ミサゴ						NT			d
54	ハチクマ						NT	繁:EN		a, d
55	トビ							繁:DD	繁:DD	a, b, c, d
56	チュウヒ				国内		EN	越:EN	越:EN	a, b
57	ハイイロチュウヒ							越:EN	越:EN	a, d
58	ツミ							繁:NT2	繁:NT2	a, b, c, d
59	ハイタカ						NT	越:NT2 繁:DD	越:VU	a, c, d
60	オオタカ						NT	越:VU 繁:VU	越:NT2 繁:VU	a, c, d
61	サシバ						VU	繁:CR	繁:EX	a, b, c, d
62	ノスリ							越:NT2 繁:NT2	越:NT2 繁:DD	a, c, d
63	イヌワシ				国内		EN	繁:DD		a
64	クマタカ				国内		EN	繁:EN		a
65	オオコノハズク							越:DD 繁:DD	越:DD 繁:EX	a, b, c, d
66	コノハズク							繁:VU		a, d
67	フクロウ							越:NT2 繁:RT	越:VU 繁:EN	a, b, c, d
68	アオバズク							繁:NT2	繁:EN	a, b, c, d
69	トラフズク							越:EN	越:EN	a, c
70	コミミズク							越:VU	越:VU	a, b, c
71	アカショウビン							繁:CR		a
72	カワセミ							繁:RT	繁:LP	a, b, c, d
73	ヤマセミ							繁:NT2		a
74	ブッポウソウ						EN	繁:CR		a
75	アリスイ							越:NT2	越:NT2	a, b, c, d
76	アオゲラ							繁:RT	越:VU	a, c, d
77	オオアオゲラ							繁:NT1		a
78	チョウゲンボウ							繁:NT2	繁:NT2	a, b, c, d
79	ハヤブサ				国内		VU	越:VU	越:VU	a, b, c, d
80	サンショウクイ						VU	繁:EN	繁:EX	a, c
81	サンコウチョウ							繁:EN	繁:EX	a, b, c, d
82	チゴモズ						CR	繁:CR	繁:EX	a, b
83	アカモズ				国内		EN	繁:CR	繁:EX	a
84	ホシガラス							繁:NT2		a
85	コガラ							繁:NT2		a, c, d
86	ヤマガラ							繁:RT		a, b, c, d
87	ヒガラ							繁:RT		a, b, c, d
88	コシアカツバメ							繁:DD		a, c
89	ウグイス							繁:RT		a, b, c, d
90	ヤブサメ							繁:NT2		a
91	メボソムシクイ							繁:NT2		a, c, d
92	エゾムクシイ							繁:NT2		a, c, d
93	センダイムシクイ							繁:NT2		a, c, d

表 3.2.5-4(3/3)　重要な動物種の状況（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
94	オオセッカ				国内		EN	越:DD	越:DD	a, b
95	オオヨシキリ							繁:NT2	繁:NT2	a
96	コヨシキリ							繁:EN	繁:EN	a, b, c, d
97	ゴジュウカラ							繁:NT2		a
98	キバシリ							繁:RT		a
99	コムクドリ							繁:DD		a, b, c, d
100	トラツグミ							繁:NT2	繁:CR	a, b, c, d
101	クロツグミ							繁:NT2		a
102	アカハラ							繁:NT2		a, b, c, d
103	コマドリ							繁:NT1		a
104	コルリ							繁:NT1		a, d
105	ルリビタキ							越:RT	越:NT2	a, c, d
106	サメビタキ							繁:NT2		a
107	コサメビタキ							繁:EN	繁:EX	a, c, d
108	キビタキ							繁:RT		a, c, d
109	オオルリ							繁:RT		a, c, d
110	イワヒバリ							繁:NT1		a
111	ニュウナイスズメ							越:NT1	越:NT1	a
112	ハギマシコ							越:VU		a
113	ベニマシコ							越:RT	越:NT1	a, c, d
114	コイカル							繁:DD	繁:DD	a
115	アオジ							繁:DD		a, b, c, d
116	ホオジロ							繁:RT	繁:NT2	a, b, c, d
117	ホオアカ							繁:CR	繁:EX	a, c, d
118	ミヤマホオジロ							越:NT1	越:NT1	a, c, d
119	シマアオジ				国内		CR			c, d
120	クロジ							越:RT	越:NT2	a
121	コジュリン						VU	越:VU	越:VU	a, d
合計	121 種	3 種	0 種	0 種	11 種	0 種	42 種	115 種	66 種	－

注：1. 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト令和 5 年度」（令和 5 年国土交通省）に従った。
2. 選定根拠⑦⑧の「繁」は繁殖鳥、「越」は越冬鳥を示す。

(4) 両生類・爬虫類

埼玉県内における重要な動物種（両生類・爬虫類）の生息は、表 3.2.5-5 に示すとおり、22 種の生息が確認されている。

表 3.2.5-5　重要な動物種の状況（両生類・爬虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1	トウキョウサンショウウオ				第二		VU	EN		a
2	アカハライモリ					指定	NT	CR	EX	a
3	イモリ					指定				c
4	アズマヒキガエル							NT1	NT1	a
5	ニホンアカガエル							VU	EN	a, b, c
6	ヤマアカガエル							NT2		a
7	トウキョウダルマガエル						NT	NT1	VU	a, b, c
8	ツチガエル							EN	CR	a, c
9	シュレーゲルアオガエル							NT2	VU	a, c
10	カジカガエル							NT1		a
11	ニホンイシガメ						NT	DD	DD	a
12	ニホンスッポン						DD	DD	DD	a
13	ヒガシニホントカゲ							NT2	NT1	a
14	ニホンカナヘビ							RT	NT2	a
15	タカチホヘビ							VU	CR	a
16	シマヘビ							VU	VU	a, c
17	アオダイショウ							NT2	NT1	a, b, c
18	ジムグリ							NT1	EN	a, c
19	シロマダラ							VU	EN	a, c
20	ヒバカリ							NT1	VU	a, b, c
21	ヤマカガシ							NT1	VU	a, b, c
22	ニホンマムシ							NT2	EN	a
合計	22 種	0 種	0 種	0 種	1 種	2 種	5 種	21 種	18 種	－

注：種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　令和５年度」（令和５年　国土交通省）に従った。

(5) 昆虫類

埼玉県内における重要な動物種（昆虫類）の生息は、表 3.2.5-6 に示すとおり、254 種の生息が確認されている。

表 3.2.5-6(1/5) 重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1	トウヨウモンカゲロウ							VU		a
2	ミツトゲヒメシロカゲロウ							EX		a
3	ヒトリガカゲロウ						NT	DD		a
4	コバネアオイトトンボ						EN	EX	EX	a, b
5	キイトトンボ							NT2	EN	a, b
6	ベニイトトンボ						NT	EN	EN	a, b
7	ヒヌマイトトンボ						EN	CR		a
8	モートンイトトンボ						NT	EN	EX	a
9	オオセスジイトトンボ						EN	CR		a, b
10	ムスジイトトンボ							DD		a, b
11	オオモノサシトンボ						EN	EN	EX	a, b
12	アオハダトンボ						NT	VU	EX	a
13	ネアカヨシヤンマ						NT	NT2	NT2	a, b
14	アオヤンマ						NT	VU	VU	a, b
15	マダラヤンマ						NT	DD		a
16	マルタンヤンマ							NT2	NT2	a, b
17	サラサヤンマ							NT2	NT2	a
18	キイロサナエ						NT	VU	VU	a, b
19	アオサナエ							NT1		a
20	ホンサナエ							VU	EN	a
21	ナゴヤサナエ						VU	VU	VU	a, b, c
22	メガネサナエ						VU	EX	EX	a, b
23	トラフトンボ							VU	EX	a
24	キイロヤマトンボ						NT	CR	EX	a, b, c
25	エゾトンボ							CR	EX	a
26	ベッコウトンボ				国内		CR	EX	EX	a
27	ヨツボシトンボ							VU	VU	a
28	ハラビロトンボ							NT2	NT2	a, b, c
29	ヒメアカネ							VU	VU	a, c
30	オオキトンボ						EN	CR	EX	a
31	ウスバカマキリ						DD	EN		a, c
32	クギヌキハサミムシ							NT2	NT2	a
33	オナシカワゲラ							VU	VU	a
34	アサカワヒメカワゲラ							NT2	NT2	a
35	ヤマトヒメカワゲラ							VU	VU	a
36	クツワムシ							EN		a
37	エゾツユムシ							NT2		a
38	オナガササキリ							RT		a
39	イズササキリ						DD	EN		a
40	ヒガシキリギリス							NT1		a
41	オオクサキリ							CR		a
42	ササキリモドキ							NT1	DD	a
43	ヒメツユムシ							NT1	DD	a
44	カスミササキリ							EN		a
45	ヒサゴクサキリ							DD	DD	a
46	カヤキリ							EN		a
47	ヒメクサキリ							NT1	VU	a
48	スズムシ							RT		a
49	マツムシ							VU		a
50	オオオカメコオロギ							EN		a

表 3.2.5-6(2/5)　重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
51	クマコオロギ							NT1		a
52	エゾエンマコオロギ							EN		a
53	コガタコオロギ							EN	EN	a
54	エゾスズ							RT		a
55	カワラバッタ							EN		a
56	クルマバッタ							NT2		a
57	ヒナバッタ							NT1		a
58	ショウリョウバッタモドキ							NT2		a
59	ナキイナゴ							NT1		a
60	ツマグロバッタ							VU		a
61	ハネナガイナゴ							NT1		a
62	ヤマトフキバッタ							RT		a
63	セグロイナゴ							VU		a
64	ニホントビナナフシ							NT1		a
65	クロスジオオウンカ							NT1	NH1	a
66	アヤヘリハネナガウンカ							NT1		a
67	アリヅカウンカ							NT1		a
68	ハルゼミ							NT1	VU	a, b
69	フクロクヨコバイ						NT	CR		a
70	トゲサシガメ							NT1	NH1	a
71	キイロサシガメ							VU	VU	a
72	ベニモンマキバサシガメ							NT2	VU	a
73	ヒメトゲヘリカメムシ							NT1		a
74	イネカメムシ							CR	CR	a
75	イネクロカメムシ							NT2	NT2	a
76	オオアメンボ							NT2	NT1	a, b
77	エサキアメンボ						NT	NT2	NT2	a, b
78	ババアメンボ						NT	NT1	NT1	a, b
79	ムモンミズカメムシ							NT1	NT1	a
80	マダラケシカタビロアメンボ							NT1	NT1	a
81	ミゾナシミズムシ						NT	VU	VU	a
82	ミヤケミズムシ						NT	CR	CR	a
83	コオイムシ						NT	CR		a, b
84	タガメ				第二		VU	CR	EX	a
85	コバンムシ				第二		EN	CR		a, b
86	ラクダムシ							VU	VU	a
87	プライヤーヒロバカゲロウ							NH2	NH2	a
88	ヒメカマキリモドキ							NH2	NH2	a
89	キバネツノトンボ							CR		a
90	ヤマトガガンボモドキ							VU	VU	a
91	ホシガガンボモドキ						DD	DD	DD	a
92	アシナガモモブトスカシバ						VU	NT1		a
93	ミヤマセセリ							NT1	EX	a
94	ホソバセセリ							NT2	EX	a
95	ギンイチモンジセセリ						NT	NT2	NT2	a, b, c
96	オオチャバネセセリ							NT2	NT2	a, b, c
97	コチャバネセセリ							NT2	NT2	a, b, c
98	ウラゴマダラシジミ							VU	EX	a, b, c
99	コツバメ							NT2	EX	a, c
100	オオミドリシジミ							NT1	CR	a, b, c
101	ミドリシジミ							NT1	NT1	a, b, c
102	クロシジミ						EN	EX	EX	a, b, c
103	ミヤマシジミ						EN	CR		a
104	ゴイシシジミ							NT2	NT2	a, b, c
105	ヤマトシジミ						NT			b, c
106	シルビアシジミ						EN	EX	EX	a, c

表 3.2.5-6(3/5)　重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
107	ウラギンスジヒョウモン						VU	VU	EX	a
108	オオウラギンスジヒョウモン							NT2	NT2	a, b, c
109	メスグロヒョウモン							NT2	EX	a
110	ウラギンヒョウモン							NT2	VU	a
111	オオウラギンヒョウモン						CR	EX	EX	a
112	アサマイチモンジ							NT2	CR	a, b, c
113	ジャノメチョウ							NT2	EX	a, b, c
114	クモガタヒョウモン							NT2	EX	a
115	ミスジチョウ							NT2	EX	a, b, c
116	ホシミスジ							NT1	CR	a
117	ヒオドシチョウ							VU	VU	a, b, c
118	オオムラサキ						NT	VU	EX	a
119	ツマグロキチョウ						EN	EN	EX	a, c
120	フチグロトゲエダシャク							NT1	NT1	a
121	イボタガ							RT	CR	a
122	オナガミズアオ						NT	RT	LP	a
123	エゾヨツメ							RT	EX	a
124	ヤママユ							RT	NT1	a, b
125	ガマヨトウ						VU	DD	DD	a
126	コシロシタバ						NT			b
127	カギモンハナオイアツバ						NT	DD	DD	a
128	ウスミミモンキリガ						NT	NT1	NT1	a
129	ミスジキリガ						NT	DD	DD	a
130	ハスオビアツバ							NT1	NT1	a
131	イチモジヒメヨトウ						VU	NT2	NT2	a
132	マツムラヒメアブ							NT2	NT2	a
133	タイワンハラボソツリアブ							NT2	NT2	a
134	ヒサマツハチモドキハナアブ							NT2	NT2	a
135	カワムラモモブトハナアブ							NT2		a
136	コブアリノスアブ							NT2	NT2	a
137	ハチモドキハナアブ							NT2	NT2	a
138	シコクモモブトホソハナアブ							NT1	NT1	a
139	スズキベッコウハナアブ							NT2	NT2	a
140	オオハチモドキバエ							NT2		a
141	フタスジヤチバエ							NT2	NT2	a
142	カエルキンバエ						DD	NT2	NT2	a
143	フルトネニクバエ							VU		a
144	アオバネホソクビゴミムシ							NT1	EN	a
145	ヒメホソクビゴミムシ							EN		a
146	オオヨツボシゴミムシ							VU	CR	a
147	ハマベミズギワゴミムシ							CR	EX	a
148	アカガネオサムシ						VU	CR	CR	a
149	セアカオサムシ						NT	NT1		a
150	ヒトツメアオゴミムシ						NT	NT2	NT1	a
151	オオサカアオゴミムシ						DD	EN	EN	a
152	アオヘリアオゴミムシ						CR	EN	EX	a
153	クビナガキベリアオゴミムシ						DD	EN	EN	a
154	ツヤキベリアオゴミムシ						VU	EX	EX	a
155	キバナガミズギワゴミムシ							EX	EX	a
156	オサムシモドキ							EN	CR	a
157	オオアオホソゴミムシ							EX	EX	a
158	スナハラゴミムシ						VU	CR		a
159	コハンミョウモドキ						EN	VU		a
160	チビアオゴミムシ						EN	CR	CR	a
161	チョウセンゴモクムシ						VU	VU		a
162	クロモンヒラナガゴミムシ							VU	VU	a

表 3.2.5-6(4/5)　重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
163	アリスアトキリゴミムシ						DD	NT2	NT1	a
164	キノコゴミムシ							NH2	NH1	a
165	キベリマルクビゴミムシ						EN	CR	EX	a
166	フタモンマルクビゴミムシ						EN	CR	EX	a
167	ハガクビナガゴミムシ						DD	EN	EN	a
168	オオトックリゴミムシ						NT	VU	CR	a
169	イグチケブカゴミムシ						NT	NT1	NT1	a
170	クビナガヨツボシゴミムシ						DD	NT2	NT2	a
171	オオヒラタトックリゴミムシ						CR	EX	EX	a
172	カワラハンミョウ						EN	EX		a
173	ホソハンミョウ						VU	NT1	VU	a, b
174	クロズマメゲンゴロウ							VU	CR	a
175	トダセスジゲンゴロウ						VU	EN	EN	a
176	テラニシセスジゲンゴロウ							DD	DD	a
177	ゲンゴロウ				第二		VU	CR	EX	a
178	マルガタゲンゴロウ				第二		VU	CR	EX	a
179	シマゲンゴロウ						NT	NT1	VU	a
180	ホンシュウオオイチモンジシマゲンゴロウ							VU	VU	a, b
181	マルケシゲンゴロウ						NT	VU		a
182	キベリクロヒメゲンゴロウ						NT	NT1	N	a, b
183	ルイスツブゲンゴロウ						VU	VU	VU	a
184	マルチビゲンゴロウ						NT	EN	EN	a
185	オオミズスマシ						NT	CR	CR	a
186	コミズスマシ						EN	DD	DD	a
187	ミズスマシ						VU	EX		a
188	コオナガミズスマシ						VU	NT1		a
189	オナガミズスマシ							VU	EN	a
190	クビボソコガシラミズムシ						DD	CR		a
191	ヒメコガシラミズムシ							DD	DD	a
192	マダラコガシラミズムシ						VU	VU	CR	a
193	カワラゴミムシ							EN	CR	a
194	セスジガムシ						EN	EN	EN	a
195	ガムシ						NT	CR		a
196	シジミガムシ						EN	DD	DD	a
197	ルリエンマムシ							NT2	NT2	a
198	カントウコチビシデムシ							NT1	NT1	a
199	ヤマトモンシデムシ						NT	NT1	VU	a
200	ヤチハネカクシ						DD	NT1		a
201	ヌレチハネカクシ						DD	NT1		a
202	ペンギンダイコクアリヅカムシ							NT1		a
203	ヤツメアリヅカムシ							NT1		a
204	ヒメキイロマグソコガネ						NT	NT1		a
205	クロモンマグソコガネ						NT	NT1		a
206	オオキイロコガネ							NT1	NT1	a
207	トラハナムグリ							NT1		a
208	ケスジドロムシ						VU	EX		a
209	ウバタマムシ							NT2	VU	a
210	アオマダラタマムシ							NT2	NT2	a, b
211	キンヘリタマムシ							DD	DD	a
212	ゲンジボタル							VU	EX	a, b
213	ヘイケボタル							NT1	VU	a, b, c
214	ヒメボタル							VU		a
215	イシハラジョウカイモドキ							VU	VU	a
216	オオヒゲボソケシキスイ							NT1		a
217	ムモンチャイロテントウ							NT2	NT1	a

表 3.2.5-6(5/5)　重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
218	ムナグロチャイロテントウ							NT2		a
219	ナカイケミヒメテントウ							NT2		a
220	トウキョウムネビロオオキノコ							NT1	NT1	a
221	オオキマダラケシキスイ							NT2	DD	a
222	Platamartusjakowlewi							NT1		a
223	ワタラセミズギワアリモドキ							EN		a
224	シロスジカミキリ							NT2	VU	a
225	アカアシオオアオカミキリ							NT2	VU	a
226	ベーツヒラタカミキリ							VU	VU	a
227	ベニバハナカミキリ							NT2	NT2	a
228	アオカミキリ							NT1	VU	a
229	ヨツボシカミキリ						EN	EN	EN	a
230	トラフカミキリ							NT2	VU	a
231	オオルリハムシ						NT	VU	VU	a
232	フトネクイハムシ							EN		a
233	ガガブタネクイハムシ							CR		a
234	イネネクイハムシ							NT2	NT2	a
235	タグチホソヒラタハムシ							VU	VU	a
236	オオケブカチョッキリ							NT1	VU	a
237	ババスゲヒメゾウムシ							NT1	NT1	a
238	スゲノハラジロヒメゾウムシ							NT1		a
239	オナガカツオゾウムシ							VU		a
240	クロイネゾウモドキ							NT2		a
241	ムサシトゲセイボウ						NT	CR	CR	a
242	ヤマトアシナガバチ						DD	EN	EN	a
243	オオハラナガツチバチ							NT2		a
244	ニッポントゲアナバチ							VU		a
245	ニッポンハヤバチ							NT2	NT2	a
246	フクイジガバチモドキ						DD	EN		a
247	コウノスジガバチモドキ							CR		a
248	ナンブジガバチモドキ							NT2		a
249	ムネアカツヤアナバチ							NT1		a
250	ニッポンハナダカバチ						VU	CR		a
251	ナンブツヤバチモドキ							CR		a
252	キスジツチスガリ							NT1		a
253	シロスジケアシハナバチ							NT1		a
254	キイロコガネヤドリバエ							NT2	NT2	a
合計	254 種	0 種	0 種	0 種	5 種	0 種	96 種	252 種	167 種	－

注：種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　令和 5 年度」（令和 5 年　国土交通省）に従った。

(6) 魚類

埼玉県内における重要な動物種（魚類）の生息は、表 3.2.5-7 に示すとおり、23 種の生息が確認されている。

表 3.2.5-7　重要な動物種の状況（魚類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1	スナヤツメ南方種						VU	CR		a
2	スナヤツメ北方種						VU	CR		a
3	ニホンウナギ						EN	NT2		a
4	ゲンゴロウブナ						EN			b, c
5	キンブナ						VU			b, c
6	ギンブナ						VU	VU		a, b, c
7	ミヤコタナゴ	国天			国内		CR	EW		a
8	ヤリタナゴ						NT	CR		a, c
9	タナゴ						EN	EX		a
10	ゼニタナゴ						CR	EX		a
11	ワタカ						CR			b, c
12	ハス						VU			b, c
13	ツチフキ						EN			c
14	スゴモロコ						VU			b, c
15	ドジョウ						NT			b, c
16	ホトケドジョウ						EN	CR		a
17	ギバチ						VU			c
18	ワカサギ							NT1		a
19	ニッコウイワナ						DD	VU		a
20	サクラマス（ヤマメ）						NT	VU		a
21	ムサシトミヨ		県天			指定	CR	CR		a
22	ミナミメダカ						VU	NT2		a
23	ジュズカケハゼ						NT			c
合計	23 種	1 種	1 種	0 種	1 種	1 種	22 種	14 種		―

注：種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　令和 5 年度」（令和 5 年　国土交通省）に従った。

(7) その他の動物（甲殻類、陸・淡水産貝類等）

埼玉県内における重要な動物種（甲殻類、陸・淡水産貝類等）の生息は、表 3.2.5-8 に示すとおり、23 種の生息が確認されている。

表 3.2.5-8　重要な動物種の状況(甲殻類、陸・淡水産貝類等)

No.	種名	重要種選定基準								文献記号
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1	マルタニシ						VU	VU	VU	a, b, c
2	オオタニシ						NT			c
3	コシダカヒメモノアラガイ						DD			b
4	モノアラガイ						NT	NT2	NT2	a, b
5	ナガオカモノアラガイ						NT	VU		a, b
6	カワネジガイ						CR	EX		a, b
7	カワコザラガイ						CR	VU	VU	a, b
8	ミズコハクガイ						VU	LP		a, b
9	ヒラマキミズマイマイ						DD	NT2		a
10	トウキョウヒラマキガイ						DD	LP		a, b
11	ヒラマキガイモドキ						NT	LP		a, b
12	カラスガイ						EN	VU		a
13	イシガイ							NT2		a, b
14	マツカサガイ						NT	EN		a
15	トブガイ							NT2	NT2	a, b, c
16	マシジミ						VU			b
17	ドブシジミ							NT2	NT2	a, b
18	ヌカエビ							NT2		a, c
19	サワガニ							NT2		a
20	カドコオオベソマイマイ						NT			b
21	トウキョウコオオベソマイマイ						NT			b
22	ナギコギセル							LP	LP	a
23	ヒメオオタキキビ						DD			b
合計	23 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	17 種	17 種	6 種	－

注：種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　令和５年度」（令和５年　国土交通省）に従った。

2) 植生

(1) 現存植生

対象事業実施区域周辺の現存植生図を図.3.2.5-1 に示す。

対象事業実施区域周辺は耕作地植生が広がり、対象事業実施区域の北側、東側については広く全体的に耕作地植生となっている。対象事業実施区域の南西側の耕作地植生の奥には市街地が広がっている。樹林は少なく、緑の住宅地やアカマツ群落、工場地帯、クヌギーコナラ群集、ケヤキーシラカシ群落等がパッチ上に存在している。

対象事業実施区域は、果樹園、畑雑草群落及び水田雑草群落に区分されている。

(2) 植生自然度及び希少な群落

植生自然度の区分は表 3.2.5-9 に示すとおりである。

植生自然度を見ると、対象事業実施区域の周辺の一部に植生自然度 7 のクヌギーコナラ群集が確認されているが、対象事業実施区域は路傍・空地雑草群落、畑地雑草群落及び水田雑草群落に区分され、植生自然度は 2～4 に分類される。

表 3.2.5-9　植生自然度区分

植生自然度	区分内容	区分基準
10	自然草原	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	自然林	エゾマツートドマツ群集、ブナ群落等、自然植生のうち低木林、高木林の植物社会を形成する地区
8	二次林 (自然林に近いもの)	ブナーミズナラ群落、シイ・カシ二次林等、代償植生であっても特に自然植生に近い地区
7	二次林	クリーミズナラ群集、コナラ群落等、繰り返し伐採されている一般に二次林と呼ばれている代償植生地区
6	植林地	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地、アカメガシワ等の低木林
5	二次草原 （背の高い草原）	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原、伝統的な管理を受けて持続している構成種の多い草原
4	二次草原 (背の低い草原)	シバ群落等の背丈の低い草原、伐採直後の草原、路傍・空地雑草群落、放棄畑雑草群落
3	外来種植林農耕地 （樹園地）	竹林、外来種の植林・二次林・低木林、果樹園、茶畑、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
2	外来種草原農耕地 （水田・畑）	外来種の草原、畑、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地等	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

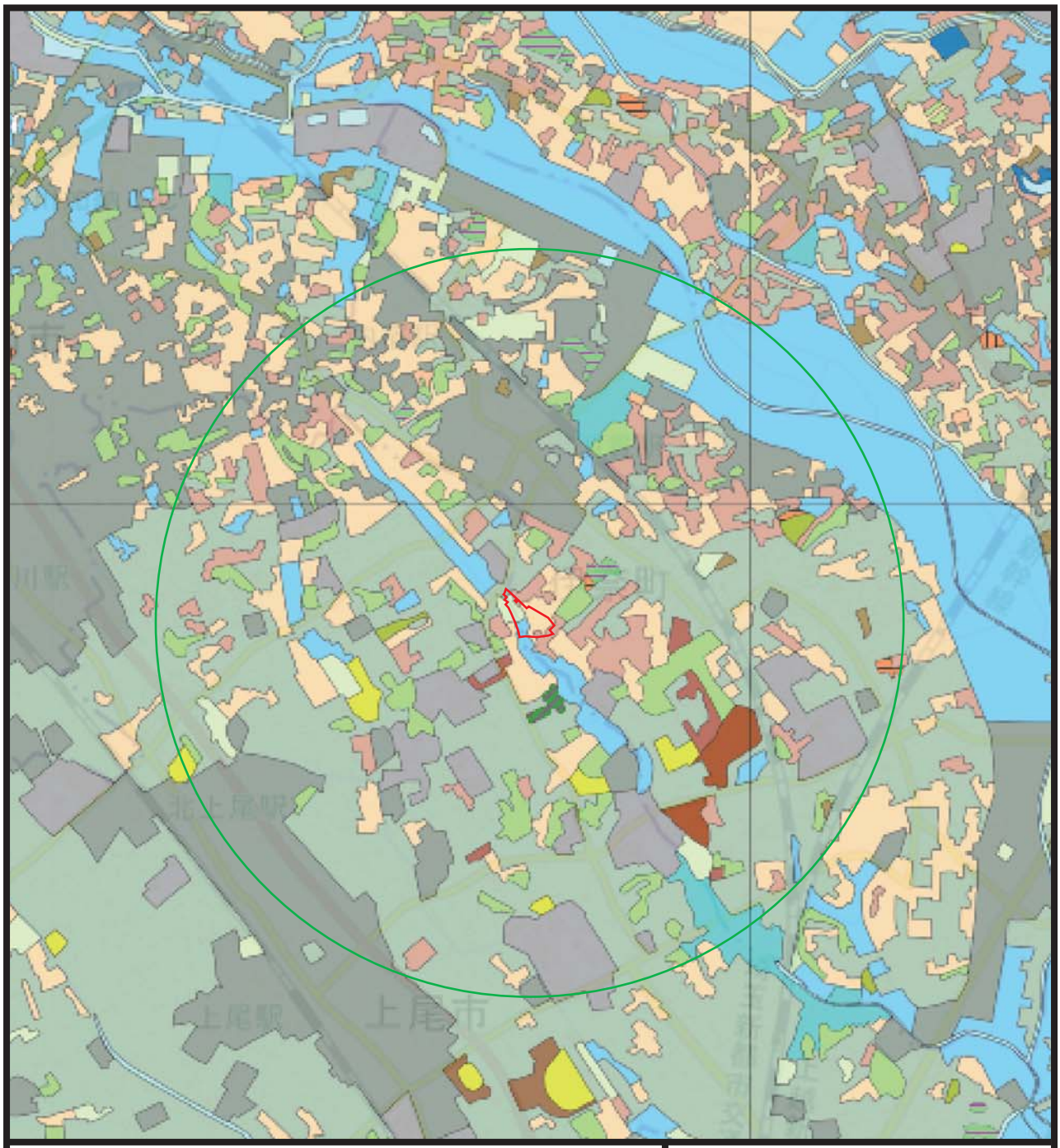
出典：「1/2.5 万植生図の新たな植生自然度について」（平成 28 年 3 月　環境省）

(3) 特定植物群落

「埼玉県レッドデータブック植物編 2011（第 4 版)」（埼玉県　平成 24 年 3 月）では、対象事業実施区域周辺に特定植物群落に該当する群落は確認されなかった。

(4) 緑の量

対象事業実施区域は果樹園等であり、その周辺についても「緑の多い住宅地」が広がっている地域である。



凡例

：対象事業実施区域

：環境に影響を及ぼす地域
（中心から半径3km）

：市町界

- クヤキ－シラカシ群落
- シラカシ屋敷林
- クヌギ－コナラ群集
- アカシデ－イヌシデ群落
- アカマツ群落
- ヨシクラス
- スギ・ヒノキ・サワラ植林
- アカマツ植林
- その他植林
- モウソウチク林
- マダケ・ハチク林
- ゴルフ場・芝地
- 路傍・空地雑草群落
- 放棄畑雑草群落
- 果樹園
- 畑雑草群落
- 水田雑草群落
- 放棄水田雑草群落
- 市街地
- 緑の多い住宅地
- 工場地帯
- 開放水域

出典：「自然環境調査Web-GIS － 生物多様性センター」（環境省 自然環境局）

N

S＝1:50,000

0　500　1000　2000m

図3.2.5-1　現存植生図

3) 重要な植物相の状況

(1) 重要な植物相の種類及び生育地の状況

埼玉県内（大宮台地）における植物相について、表 3.2.5-10 に示す文献資料に基づき作成した。また、文献資料で確認された種を対象に表 3.2.5-11 に示す基準に該当する種を重要種として整理した。

表 3.2.5-10　文献資料一覧

記号	文献名
A	埼玉県レッドデータブック植物編 2011（第 4 版）（埼玉県、平成 24 年 3 月）
B	上尾市植物動物調査報告書（上尾市、平成 3 年 3 月）
C	伊奈町史資料調査報告書　第九集　伊奈の植物Ⅰ（伊奈町史編集室）
D	伊奈町史資料調査報告書　第十集　伊奈の植物Ⅱ（伊奈町史編集室）
E	伊奈町史　別編　伊奈の植物　補遺編（伊奈町教育委員会）

注：A については上尾市及び伊奈町が位置する「大宮台地」で生育が確認されたものを対象とした。

表 3.2.5-11(1/2)　重要種選定基準（法令による指定種）

No.	法令	選定根拠
①	「文化財保護法」 (昭和 25 年法律第 214 号)	・特別天然記念物（特天） ・国指定天然記念物（国天）
②	「埼玉県文化財保護条例」 (昭和 30 年埼玉県条例 46 号)	・県指定天然記念物（県天）
③	「上尾市文化財保護条例」 (平成 18 年 3 月 29 日) 「伊奈町文化財保護条例」 (昭和 38 年 10 月 1 日　条例第 21 号)	・市町指定天然記念物（市天）
④	「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律（種の保存法）」 (平成 4 年 6 月 5 日　法律第 75 号)	・国内希少野生動植物種（国内） ・国際希少野生動植物種（国際） ・特定第一種国内希少野生動植物種（第一） ・特定第二種国内希少野生動植物種（第二） ・緊急指定種（緊急）
⑤	「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」 (平成 12 年 3 月 24 日　条例第十一号)	・希少野生動植物（指定）
⑥	環境省レッドリスト 2020	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） ・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN) ・絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足(DD) ・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
⑦	「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧 IA 類（CR） ・絶滅危惧 IB 類（EN） ・絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）

(2) 植物

埼玉県内における重要な植物種の生育は、表 3.2.5-12 に示すとおり、61 科 130 種の生育が確認されている。

表 3.2.5-12(1/3) 重要な植物種の状況

No.	科	種名	重要種選定基準							文献記号
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
1	ミズニラ科	ミズニラ						NT	VU	A, D
2	ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ							VU	A
3		コハナヤスリ							EN	A
4		ヒロハハナヤスリ							EN	A
5	ホウライシダ科	ミズワラビ							NT	A
6	アカウキクサ科	アカウキクサ							DD	A
7	イラクサ科	トキホコリ						VU	VU	A, C
8	ヤドリギ科	マツグミ							EN	A
9	タデ科	シロバナサクラタデ							NT	A
10		ナガバノウナギツカミ						NT		C
11		ノダイオウ						VU		B
12		ヌカボタデ						VU		B, C
13		コギシギシ						VU		C
14		ヤナギヌカボ						VU		E
15	アカザ科	アカザ						VU		B, C
16	モクレン科	シデコブシ						NT		B
17	キンポウゲ科	イチリンソウ							NT	A
18		ヒキノカサ							CR	A
19		ヒメウズ							VU	A
20		ノカラマツ						VU	VU	A, B, C
21	メギ科	イカリソウ							NT	A
22	スイレン科	オニバス							CR	A
23		コウホネ							NT	A
24	マツモ科	マツモ							VU	A
25	ドクダミ科	ハンゲショウ							VU	A
26	ウマノスズクサ科	カンアオイ							NT	A
27	オトギリソウ科	トモエソウ							VU	A
28	アブラナ科	コイヌガラシ						NT	NT	A, C, E
29	ユキノシタ科	タコノアシ						NT	VU	A, B, C
30	バラ科	ナガボノシロワレモコウ							NT	A
31		ナガボノアカワレモコウ							VU	A
32	マメ科	イヌハギ						VU		B
33	トウダイグサ科	ノウルシ						NT	VU	A, B, C
34	ツリフネソウ科	ワタラセツリフネソウ							EN	A
35	スミレ科	アケボノスミレ							NT	A
36		エゾアオイスミレ							NT	A
37	ウリ科	ゴキヅル							VU	A
38	ミソハギ科	エゾミソハギ							EN	A
39		ヒメキカシグサ						CR		B
40		ミズマツバ						VU		C
41	ヒシ科	ヒシ							NT	A
42		オニビシ							NT	A
43	アカバナ科	ウスゲチョウジタデ							VU	A
44		ミズキンバイ							DD	A

表 3.2.5-12(2/3)　重要な植物種の状況

No.	科	種名	重要種選定基準							文献記号
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
45	セリ科	エキサイゼリ							CR	A
46		シムラニンジン						VU		B, C
47		ヌマゼリ						VU		C
48	サクラソウ科	ノジトラノオ						VU	EN	A, E
49		ヌマトラノオ							NT	A
50		サワトラノオ					指定	EN	CR	A, B
51		サクラソウ					指定	NT	CR	A, B
52	マチン科	ヒメナエ							CR	A
53		アイナエ							NT	A
54	ミツガシワ科	ヒメシロアサザ						VU		B
55	キョウチクトウ科	チョウジソウ						NT	EN	A, C
56	ガガイモ科	コカモメヅル							NT	A
57	アカネ科	ハナムグラ						VU	EN	A, C
58	シソ科	ミゾコウジュ						NT		B, C
59	ゴマノハグサ科	サワトウガラシ							CR	A
60		アブノメ							NT	A
61		オオアブノメ						VU	EN	A, B, E
62		シソクサ							EN	A
63		キクモ							NT	A
64		キタミソウ							EN	A
65		クチナシグサ							NT	A
66		カワヂシャ							VU	A
67		イヌノフグリ						VU		B, C
68		ゴマノハグサ						VU		C
69	タヌキモ科	タヌキモ						NT		C
70	ハマウツボ科	ナンバンギセル							VU	A
71	スイカズラ科	ゴマギ							NT	A
72	オミナエシ科	オミナエシ							EN	A
73	キキョウ科	バアソブ						VU	EN	A, B
74	キク科	タウコギ							NT	A
75		オグルマ							NT	A
76		オナモミ						VU	VU	A, B, C
77		フジバカマ						NT		B
78		アキノハハコグサ						EN		B, C, E
79		ホソバオグルマ						VU		E
80	オモダカ科	ヘラオモダカ							NT	A
81		サジオモダカ							EN	A
82		ウリカワ							NT	A
83		アギナシ						NT		C
84	トチカガミ科	トチカガミ						NT	VU	A, C
85		ミズオオバコ						VU	VU	A, B, C
86		コウガイモ							VU	A
87		セキショウモ							NT	A
88	ヒルムシロ科	イトモ						NT	VU	A, B
89		エビモ							NT	A
90		ヤナギモ							NT	A
91		ササバモ							NT	A
92	ユリ科	ヤマラッキョウ							VU	A
93		アマナ							NT	A
94		ヒロハノアマナ							EN	A
95		カタクリ							NT	A

表 3.2.5-12(3/3)　重要な植物種の状況

No.	科	種名	重要種選定基準							文献記号
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
96	ヒガンバナ科	キツネノカミソリ							NT	A
97	ミズアオイ科	ミズアオイ						NT	CR	A, B
98	ホシクサ科	ヒロハイヌノヒゲ							VU	A
99		ホシクサ							EN	A
100	イネ科	セイタカヨシ							VU	A
101		ヒナザサ						NT		E
102	サトイモ科	ウラシマソウ							NT	A
103	ミクリ科	ミクリ							NT	A
104	カヤツリグサ科	トダスゲ							CR	A
105		ジョウロウスゲ						VU	CR	A, B, C
106		ウマスゲ							NT	A
107		オニナルコスゲ							EN	A
108		カンエンガヤツリ							VU	A
109		シロガヤツリ							VU	A
110		コツブヌマハリイ							CR	A
111		アゼテンツキ							EN	A
112		ハタケテンツキ							CR	A
113		マツカサススキ							NT	A
114		イトテンツキ						NT		B
115	ラン科	エビネ							EN	A
116		ギンラン							VU	A
117		キンラン						VU	EN	A, C
118		ササバギンラン							NT	A
119		サイハイラン							NT	A
120		シュンラン							NT	A
121		クマガイソウ							CR	A
122		コクラン							EN	A
123	ヒナノハイゴケ科	ヒメシワゴケ							VU	A
124	ハイゴケ科	コウライイチイゴケ							VU	A
125	ウキゴケ科	ウキゴケ							VU	A
126		イチョウウキゴケ							VU	A
127	サンショウモ科	サンショウモ						VU		D
128	シロソウメンタケ科	ベニセンコウタケ							VU	A
129	スッポンタケ科	キヌガサタケ							NT	A
130	スチルベラ科	クモタケ							DD	A
合計	61 科	130 種	0 種	0 種	0 種	0 種	2 種	44 種	106 種	―

注：種名の配列等は、原則として「埼玉県レッドデータブック植物編 2011（第 4 版）」（埼玉県、平成 24 年 3 月）に従った。

(3) 巨樹・巨木林

「第 6 回　自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林」に該当する図 3.2.5-2 に示す。

対象事業実施区域周辺において、イチョウ等の 15 本の巨樹林・巨木林に該当する樹木が確認されている。

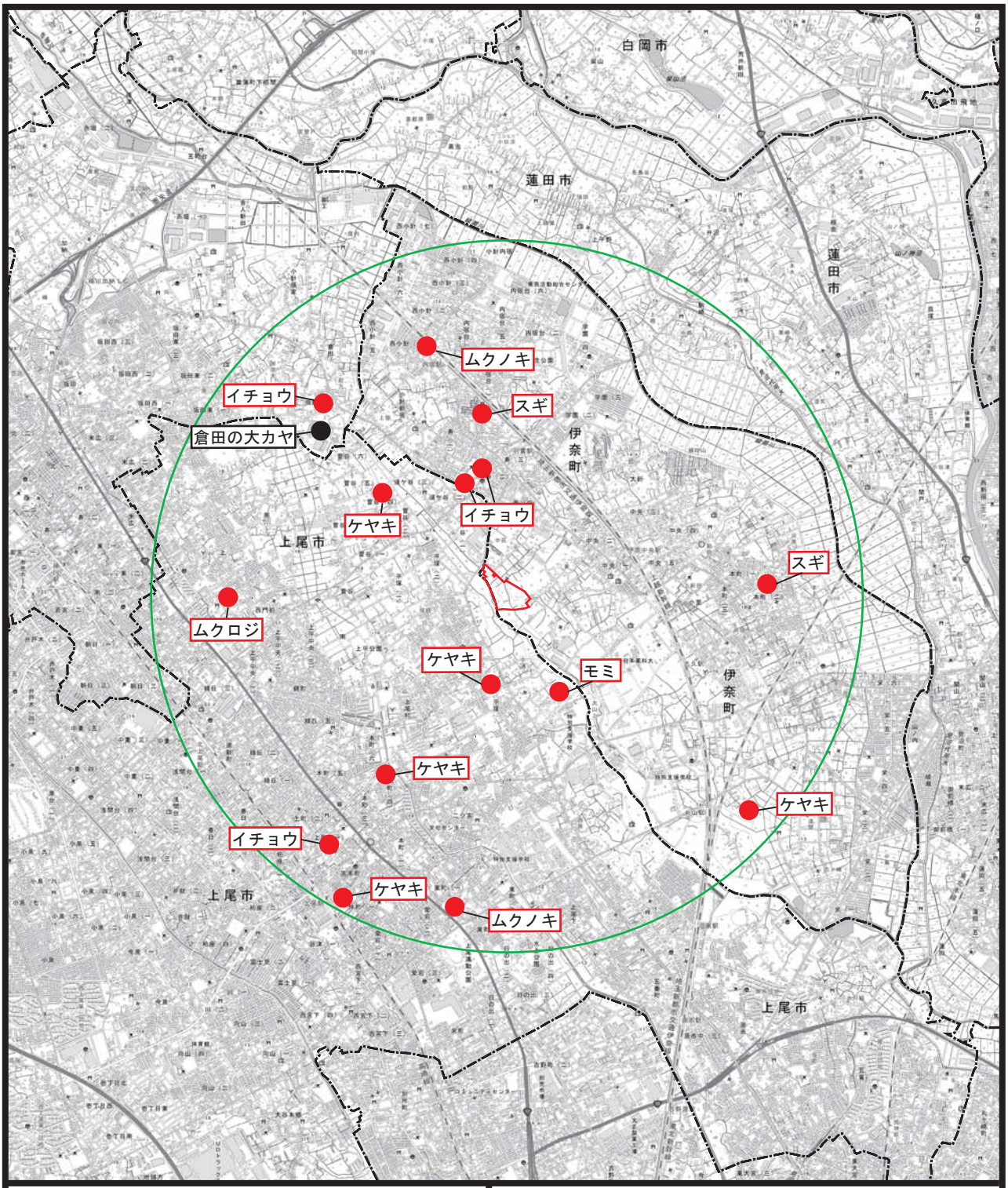
表 3.2.5-13　確認された巨樹・巨木の本数

科名	樹種名	調査範囲内
イチョウ	イチョウ	4
スギ	スギ	2
ニレ	ケヤキ	5
アサ	ムクノキ	2
マツ	モミ	1
ムクロジ	ムクロジ	1
合計		15

出典：「第 6 回　自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林」
（令和 6 年 3 月閲覧、自然環境調査 Web-GIS（環境省 HP））

(4) 天然記念物

対象事業実施区域周辺に県指定の天然記念物として、「倉田の大カヤ」が確認されている（図 3.2.5-2 参照）。



凡例

：対象事業実施区域

：市町界

：環境に影響を及ぼす地域
（中心から半径3km）

：巨樹・巨木林

：天然記念物

出典：「第6回　自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林」
（令和6年3月閲覧、自然環境調査Web-GIS（環境省HP）

N

S＝1:50,000

0　500　1000　2000m

図3.2.5-2　巨樹・巨木林及び天然記念物の位置

この地図は、国土地理院発行の電子地図2万5千分の1を使用したものである。

4) 生態系

対象事業実施区域が位置する伊奈町は、東部に広がる水田地帯、綾瀬川や原市沼川などの河川環境、中心部の台地には社寺林や雑木林などの里地里山環境が残されており、多くの動植物たちが生息・生育している（「第 2 次伊奈町環境基本計画」（令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間が後期計画）より）。また、対象事業実施区域の西側周辺は、上尾市の特に優れた自然環境の分布する保全重要地域としており（上尾市植物動物調査報告書　平成 3 年 3 月　上尾市）、樹林地や農地が残されている。伊奈町では自然環境の変化の一部として湧水の状況が図 3.2.5-3 に示すとおり確認されており、対象事業実施区域の西側を流れる原市沼川において、対象事業実施区域の西側付近や下流にも確認されている（伊奈町史　通史編Ⅲ　令和 5 年 3 月 15 日発行　伊奈町教育委員会）。

対象事業実施区域周辺は、果樹園や田畑等の農業が盛んな地域や緑のある住宅街、工場地帯等の人為的な地域が高い割合を占めているが、それらに加え、雑木林や人工林等もパッチ状に存在している。

このような環境を反映して、草地、耕作地、市街地では生産者として、スギナ、スイバ、ツユクサ、チガヤ、ススキ等の植物、一次消費者として、ハタネズミ等の哺乳類、ショウリョウバッタ、コバネイナゴ、ベニシジミ等の昆虫類、中位消費者として、アズマモグラ、アブラコウモリ等の哺乳類、スズメ、カワラヒワ等の鳥類、シュレーゲルアオガエル、シマヘビ等の両生類・爬虫類、オオカマキリ等の昆虫類、上位消費者として、イタチ属等の哺乳類、ツミ、チョウゲンボウ等の鳥類が生息する生態系が構築されているものと考えられる。

樹林地では生産者としてクヌギ、コナラ、アカマツ、ケヤキ、アオキ、ベニシダ等の植物、一次消費者としてアカネズミ等の哺乳類、カブトムシ、ノコギリクワガタ、ヒカゲチョウ等の昆虫類、中位消費者として、ホンドタヌキ等の哺乳類、コゲラ、ヤマガラ等の鳥類、ヤマカガシ等の両生類・爬虫類、モンスズメバチ等の昆虫類、上位消費者として、ホンドキツネ等の哺乳類やオオタカ等の鳥類が生息する生態系が構築されているものと考えられる。

河川や水路等の水辺では、生産者としてアカメヤナギ、ガマ、ヨシ、ヒシ等の植物、一次消費者として、トビケラ類、カゲロウ類、エサキアメンボ等の昆虫類、ヌマエビ、ヒメタニシ、カワニナ等の底生動物、中位消費者として、カワセミ、キセキレイ等の鳥類、ニホンイシガメ等の両生類・爬虫類、チョウトンボ、ヘイケボタル等の昆虫類、メダカ、ドジョウ等の魚類、上位消費者としてサギ類、カワウ等の鳥類、ナマズ等の魚類が生息する水域生態系が構築されているものと考えられる。

類型区分ごとの生態系の概要を表 3.2.5-14 に示す。

出典：伊奈町史　通史編Ⅲ　令和 5 年 3 月 15 日発行　伊奈町教育委員会

図 3.2.5-3　伊奈町の湧水の確認状況

表 3.2.5-14　類型区分ごとの生態系の概要

環境類型区分	生産者	消費者		
		下位	中位	上位
草地 耕作地 市街地	・スギナ ・イヌタデ ・イタドリ ・スイバ ・ギシギシ ・ドクダミ ・ツユクサ ・メヒシバ ・イヌビエ ・チガヤ ・ススキ	【哺乳類】 ・ハタネズミ 【昆虫類】 ・ショウリョウバッタ ・コバネイナゴ ・ナガメ ・ベニシジミ	【哺乳類】 ・アズマモグラ ・アブラコウモリ 【鳥類】 ・スズメ ・カワラヒワ 【両生類・爬虫類】 ・シュレーゲルアオガエル ・シマヘビ 【昆虫類】 ・オオカマキリ	【哺乳類】 ・イタチ属 【鳥類】 ・ツミ ・チョウゲンボウ
樹林地	・クヌギ ・コナラ ・アカマツ ・シラカシ ・ケヤキ ・エノキ ・スギ ・ヒノキ ・モウソウチク ・アオキ ・ベニシダ	【哺乳類】 ・アカネズミ 【昆虫類】 ・カブトムシ ・ノコギリクワガタ ・ヒカゲチョウ	【哺乳類】 ・ホンドタヌキ 【鳥類】 ・コゲラ ・ヤマガラ 【両生類・爬虫類】 ・ヤマカガシ 【昆虫類】 ・モンスズメバチ	【哺乳類】 ・ホンドキツネ 【鳥類】 ・オオタカ
河川 水路	・アカメヤナギ ・ガマ ・クサヨシ ・ヨシ ・オギ ・ウキヤガラ ・カンガレイ ・ヒシ ・ウマスゲ ・ホザキノフサモ	【昆虫類】 ・トビケラ類 ・カゲロウ類 ・エサキアメンボ 【底生動物】 ・ヌマエビ ・ヒメタニシ ・カワニナ	【鳥類】 ・カワセミ ・キセキレイ 【両生類・爬虫類】 ・ニホンイシガメ 【昆虫類】 ・チョウトンボ ・ヘイケボタル 【魚類】 ・メダカ ・ドジョウ	【鳥類】 ・サギ類 ・カワウ 【魚類】 ・ナマズ

出典：上尾市植物動物調査報告書（上尾市、1991）、埼玉県上尾市の環境現況（村上公久、2017）第２次上尾市緑の基本計画（上尾市、2021)、伊奈町史通史編Ⅲ（伊奈町史　通史編Ⅲ　令和５年３月 15 日発行　伊奈町教育委員会)、さいたま市生物実態調査（さいたま市環境局環境共生部環境対策課、2023)）

2.6 景観及び自然とのふれあいの場の状況

1) 景観の状況

伊奈町の東西及び南は、低地となっており、その大部分は水田として利用され、特に町の東側にあたる綾瀬川流域の水田の広がりや町の西側の果樹園等の広がりは美しい田園風景を形成している。

町の中央部分は南北に住宅地等の市街地が広がっていることから、市街地を取り囲むように水田地帯や果樹園などの農地、平地林、屋敷林の緑が残る集落地が広がっている。

対象事業実施区域周辺は主に果樹園などが広がる地域にあたる。

対象事業実施区域周辺地域における景観資源の分布は表 3.2.6-1 及び図 3.2.6-1 に示すとおりである。

これらの景観資源のうち、建築物（伊奈町立北保育所、山本屋又右衛門）については、近景によるものであることやこれらを見る際の方向は、対象事業実施区域の位置する方向ではない。また、自然景観資源である山ノ神沼は対象事業実施区域の北東約 4.7 ㎞に位置する景観資源である。

なお、伊奈町周辺からは、高層の建物が少ないことなどから、富士山を眺望できることが知られている。

一方、対象事業実施区域周辺の眺望地点については、対象事業実施区域周辺は平らな土地が広がり、特に高い土地や建物は少なく、対象事業実施区域周辺に展望台等もないことから、周辺の田園風景等の景色や富士山を眺望できる地点としては、綾瀬川沿いや不特定多数が利用する施設等である伊奈病院や商業施設の駐車場（平面、上層階、屋上等）が考えられる。

なお、富士山の眺望が可能な地点としては、伊奈中央駅、羽貫駅や綾瀬川沿いの伊奈ジョギングロードが知られている（図 3.2.6-1 参照）。

なお、「第 3 回自然環境保全基礎調査　自然環境情報図　埼玉県」（環境庁　平成元年）によると、対象事業実施区域周辺に地形に係る自然景観資源は確認されていない。

表 3.2.6-1　主要な景観資源の状況

No	名称	所在地	対象事業実施区域からの距離	出典
①	伊奈町立北保育所	伊奈町	北　約 2.5 ㎞	1
②	山本屋又右衛門	上尾市	南南東　約 3.5 ㎞	1
③	山ノ神沼	蓮田市	北東　約 4.7 ㎞	2

出典：1「埼玉県景観資源データベース」（令和 6 年 2 月閲覧、埼玉県ホームページ）
：2「第 3 回自然環境保全基礎調査」（令和 6 年 2 月閲覧、環境省）

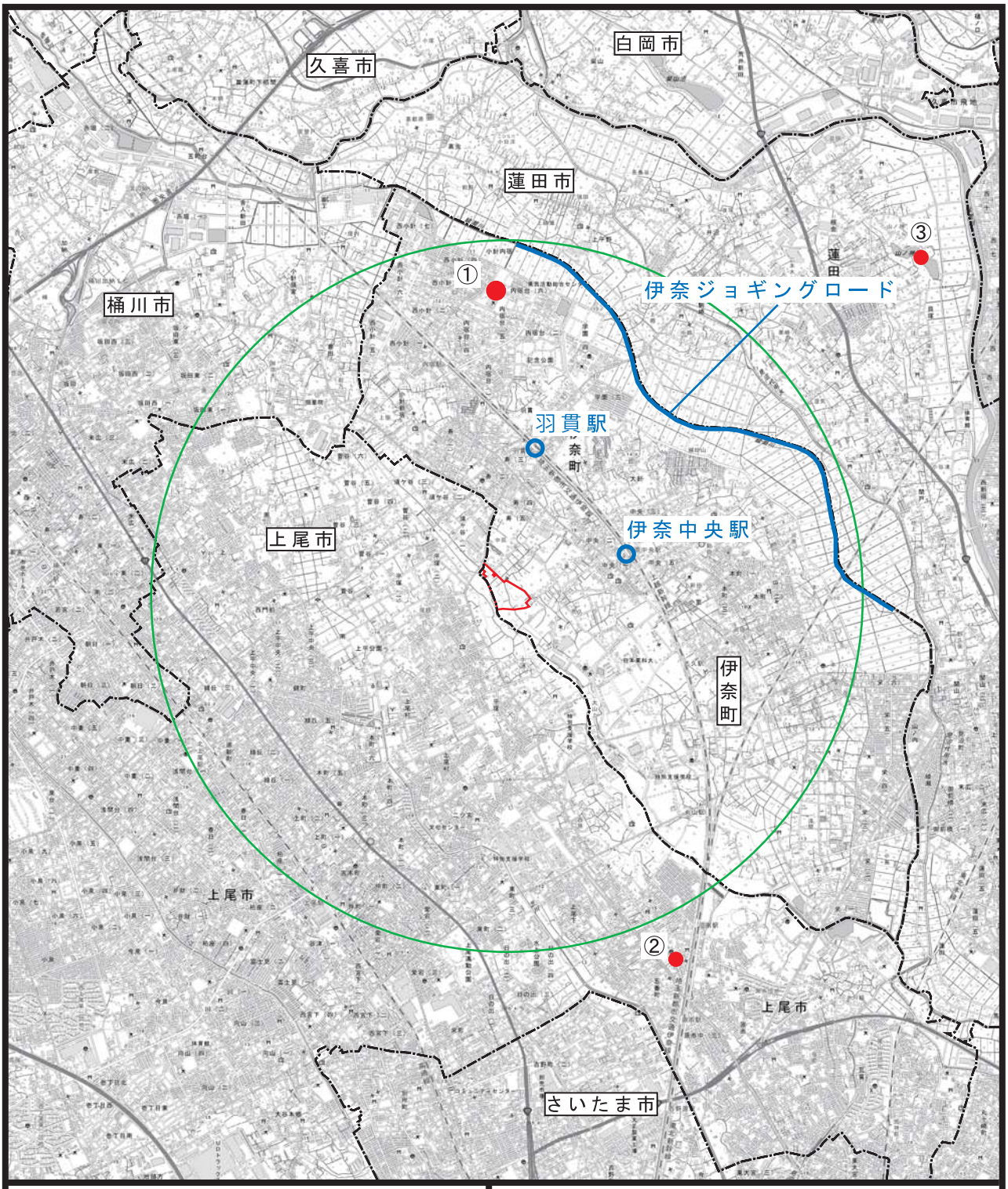


図3.2.6-1　景観資源等の状況

この地図は、国土地理院発行の電子地図2万5千分の1を使用したものである。

2) 自然とのふれあいの場

(1) 公園

対象事業実施区域周辺における自然とのふれあいの場（公園）は、表 3.2.6-2 及び図 3.2.6-2 に示すとおりである。

図 3.2.6-2 をみると対象事業実施区域に近接した公園はなく、主な搬出入道路に近接または隣接した大規模な公園として、上平公園と平塚公園がある。

上平公園は対象事業実施区域の西約 1.1 ㎞に位置し、主な搬出入道路である「はなみずき通り」に近接している。また、平塚公園は対象事業実施区域の南約 0.5 ㎞に位置し、主な搬出入道路である「さいたま菖蒲線」に面している。これらの公園の概要を表 3.2.6-3 に示す。

表 3.2.6-2　自然とのふれあいの場（公園）の状況

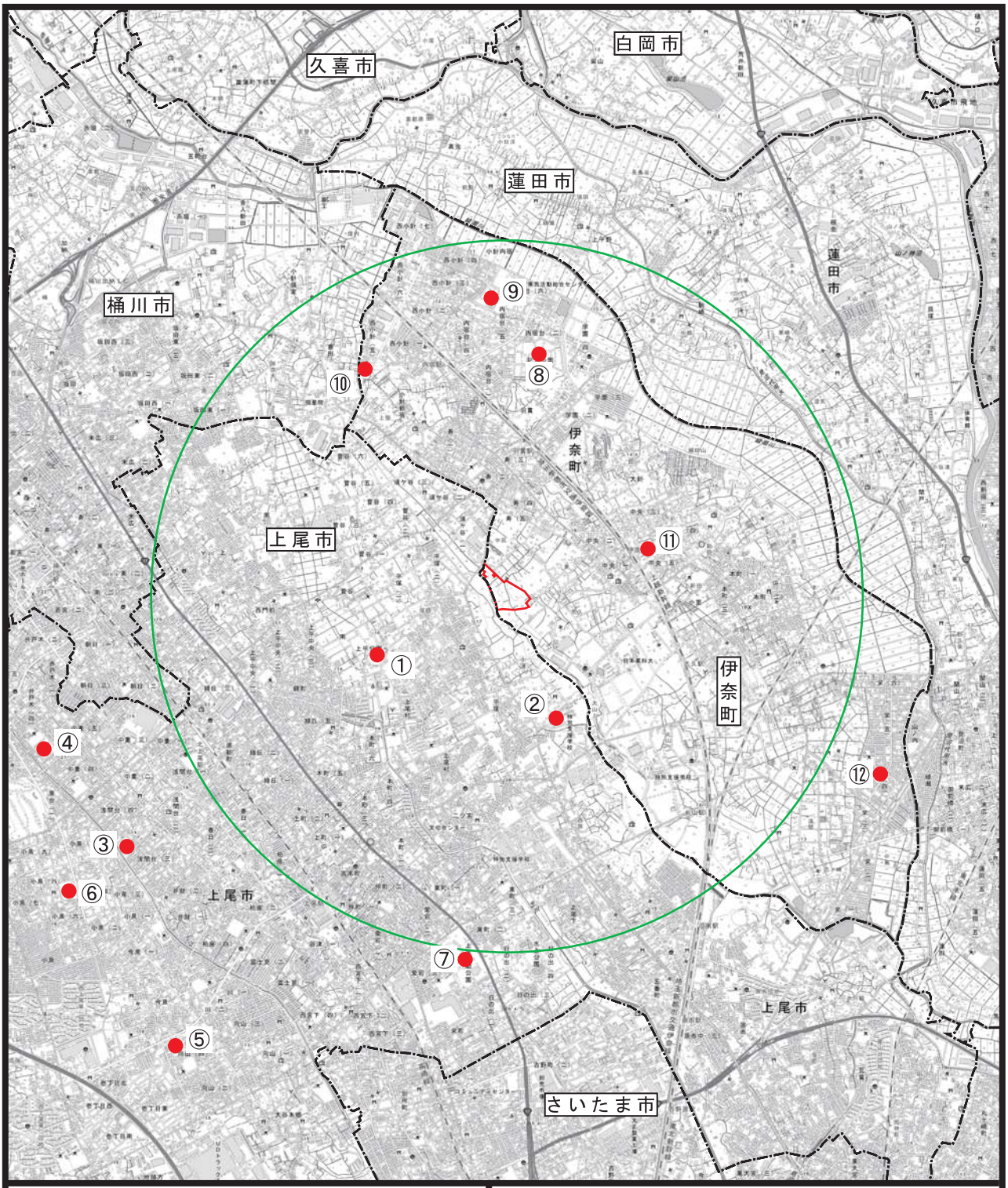
No.	名称	No.	名称
1	上平公園	7	上尾運動公園
2	平塚公園	8	伊奈町制施行記念公園
3	浅間台大公園	9	内宿台公園
4	鴨川中央公園	10	西小針公園
5	ゆりが丘公園	11	中部公園
6	小泉氷川山公園	12	南部大公園

注：近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園、その他の公園について抽出した。

出典：「上尾市の都市計画」（令和 6 年 6 月）
「町内公園案内」（令和 6 年 8 月閲覧、伊奈町 HP）

表 3.2.6-3　最寄りの大型公園の概要

公園	上平公園	平塚公園
概要	スポーツ施設を中心に良好な自然林を活用し、四季を通じて散策を楽しめる場所や親水広場、遊具などがあり、市民の交流、憩いの場を提供する総合公園である。	スポーツ施設や自然を生かした散策路のある樹林など、子どもからからお年寄りまで 1 日を通して過ごせる公園である。周辺には神社などがあり、緑につつまれた良好な環境を形成している。
内容（施設等）	ふれあいの森、ふれあいの里、芝生広場、水辺の広場、多目的広場、ジョギングコース、野球場、テニスコートなど	水の広場、ちびっこ広場、わんぱく広場、いこいの広場、テニスコートなど



凡例

：対象事業実施区域

：市町界

：環境に影響を及ぼす地域
（中心から半径3km）

：自然とのふれあいの場
（①～⑫は表3.2.6-1の番号を示す）

N

S＝1:50,000

0　500　1000　2000m

図3.2.6-2　自然とのふれあいの場（公園）

この地図は、国土地理院発行の電子地図2万5千分の1を使用したものである。

(2) その他

対象事業実施区域周辺における自然とのふれあいの場の状況（その他）及びウォーキングコース、ジョギングロード等の状況は表 3.2.6-3、図 3.2.6-3 に示すとおりである。

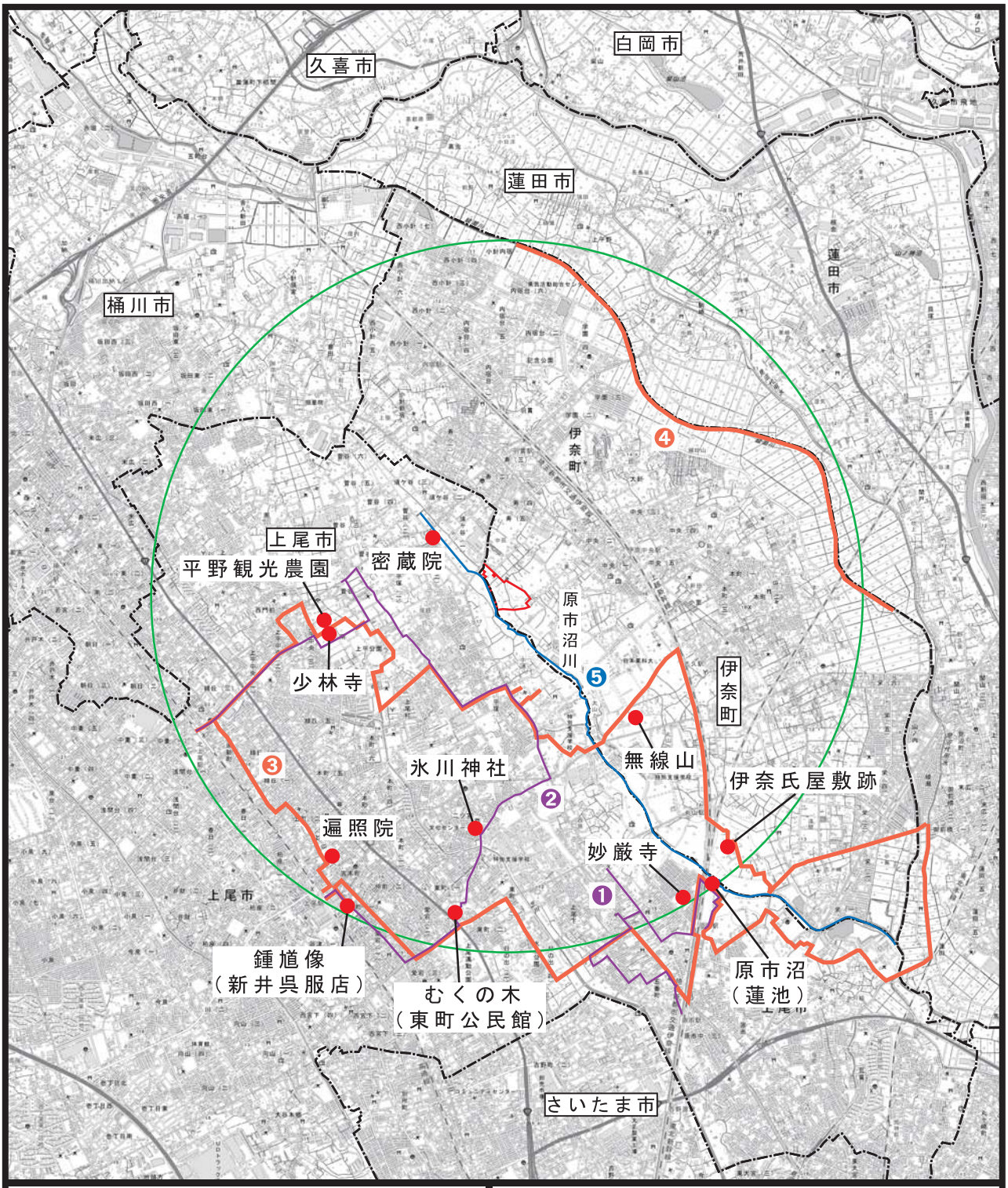
上尾市、伊奈町では、ウォーキングやサイクリング及びジョギングのコースとして、地域の見所などを巡るコースをホームページ等で紹介している。

表 3.2.6-3　自然とのふれあいの場の状況

No.	名　称	所在地	概　要
❶	あげお散歩マップ　東口コース（沼南駅スタート）	上尾市	上尾市内を巡る市内東部のウォーキングコースの一つ（対象事業実施区域に近い東口コース）である。 沼南駅を出発して原市駅を到着地点とした約 6 ㎞のウォーキングコースである。
❷	あげお散歩マップ　東口コース（北上尾駅スタート）	上尾市	上尾市内を巡る市内東部のウォーキングコースの一つ（対象事業実施区域に近い東口コース）である。 北上尾駅を出発地点、上尾駅を到着地点とした約 13 ㎞のウォーキングコースである。
❸	今昔のスポット！ 観て感激・走って爽快コース	上尾市	上尾市内を巡る市内東部のサイクリングコース（対象事業実施区域に近い上尾東ルート）である。上尾駅東口を発着地点とした約 25 ㎞サイクリングコースである。
❹	伊奈ジョギングロード	伊奈町	伊奈町の綾瀬川沿いの約 6 ㎞のジョギングコースである。
❺	原市沼川	上尾市 伊奈町	原市沼川沿いは散歩等が可能な範囲があり、下流には古代蓮が楽しめる蓮池がある。

注：各コースの主な見どころ等（対象事業実施区域から 3 ㎞の範囲）を図 3.2.6-3 に示す。

出典：「上尾市のウォーキングコース」（令和 6 年 3 月閲覧、埼玉県 HP）
「上尾サイクルマップ」（令和 6 年 3 月閲覧、上尾市 HP）
「ジョギングロード」（令和 6 年 3 月閲覧、伊奈町 HP）



凡例

：対象事業実施区域

：市町界

：環境に影響を及ぼす地域
（中心から半径3km）

：自然とのふれあいの場

：ウォーキングコース等
（❶～❺は表3.2.6-4の番号を示す）

N

S＝1:50,000

0　500　1000　2000m

図3.2.6-3　自然とのふれあいの場（その他）及びウォーキングコース等の状況

この地図は、国土地理院発行の電子地図2万5千分の1を使用したものである。